

平成30年5月30日

各報道機関担当記者 殿

## 西田幾多郎直筆の新たな資料を発見

石川県西田幾多郎記念哲学館, 京都大学, 金沢大学が連携し,

### 修復・翻刻事業を実施

このたび、日本を代表する哲学者である西田幾多郎の未公開資料が大規模に発見されたことを受け、石川県西田幾多郎記念哲学館（以下、哲学館）が研究資料化プロジェクトを立ち上げ、哲学館、京都大学および金沢大学が連携して修復・翻刻事業を進めてまいりました。

2018年3月には本プロジェクトをまとめた報告書『西田幾多郎未公開ノート類研究資料化 報告1（2017）』を刊行しましたが、このたび、哲学館の研究棟において報道関係の皆様へ下記のとおり新資料を公開することとなりました。

つきましては、当日の取材・報道をお願いいたします。

なお、本プロジェクトの報告書『西田幾多郎未公開ノート類研究資料化 報告1（2017）』については、別紙の哲学館担当者へお問い合わせ願います。

#### 記

1. 公開日 2018年6月5日（火）、6月6日（火）午前9時00分から午後5時00分
2. 会場 石川県西田幾多郎記念哲学館研究棟（石川県かほく市内日角井1）

<本件に関する照会先>

人間社会研究域人間科学系  
教授 森 雅秀

Tel : 076-264-5313

<広報担当>

総務部広報室 嘉信

Tel : 076-264-5024

## 西田幾多郎直筆の新たな資料を発見

石川県西田幾多郎記念哲学館、京都大学、金沢大学が連携し、

修復・翻刻事業を実施

### 【発表のポイント】

- ・ 日本を代表する哲学者である西田幾多郎の未公開資料が大規模に発見された(ノート50冊他)。西田が帝国大学選科在学時に取った受講ノートと思われる若い時期の資料も含まれる。
- ・ 研究資料化プロジェクトを立ち上げ、資料状態が悪かったため修復した上で、石川県西田幾多郎記念哲学館、京都大学および金沢大学が連携し翻刻事業を開始した。
- ・ ノートの一部が京都大学での講義「宗教学」「倫理学」のための講義ノートであると判明した。
- ・ 『善の研究』から西田が思想をどのように展開したかを解明する手掛かりとなる可能性がある。

### 【内容】

2015年秋、西田幾多郎の遺族宅にて50冊のノートを含む西田の直筆資料が発見され、石川県かほく市が運営する西田幾多郎記念哲学館(以下、哲学館)へ寄託されました。これは、西田の直弟子たちによる西田全集の編纂(第二版、1965年)以降の50年で最大規模の発見です。

資料は経年の劣化のため、湿気を含むなど保全のための作業が必要な状態であったため、哲学館において、奈良文化財研究所の協力を経て真空凍結乾燥処理、専門業者に委託して展開、クリーニング等の修復を行いました。修復後、京都大学大学院文学研究科の林晋教授、金沢大学人間社会研究域人間科学系の森雅秀教授と連携して翻刻作業を行い、その内容が少しずつ明らかになってきました。

西田幾多郎は金沢の第四高等学校から京都大学へ赴任し、独創的な哲学者として活躍しました。西田の著書は現在では8カ国以上に翻訳され、世界中で研究されています。特に、金沢で執筆し、京都大学赴任直後に発表した『善の研究』は、日本人が書いた最初の哲学書として有名です。今回の発見は、京都大学赴任直後の講義ノートを含み、『善の研究』から西田がどのように思想を展開したかを解明する有力な手掛かりとなります。

2018年3月には本プロジェクトをまとめた報告書『西田幾多郎未公開ノート類研究資料化 報告1(2017)』を刊行し、このたび、同3月に竣工した哲学館の研究棟において新資料を公開することとなりました。今後、本研究棟を活用し、引き続き3機関が連携して翻刻および研究を進めてまいります。

### 【新資料の公開日時等】

公開日：2018年6月5日(火)、6日(水) 9時00分～17時00分

場 所：石川県西田幾多郎記念哲学館研究棟(石川県かほく市内日角井1)

【本件に関する問い合わせ先】

■研究資料化プロジェクト/新資料公開に関する問い合わせ先

石川県西田幾多郎記念哲学館 中嶋 優太 (なかじま ゆうた)

TEL : 076-283-6600 FAX : 076-283-6320

E-mail : nishidamuseum2@gmail.com